



2026年度 第2四半期(中間期) 決算説明資料

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

2026年10月8日

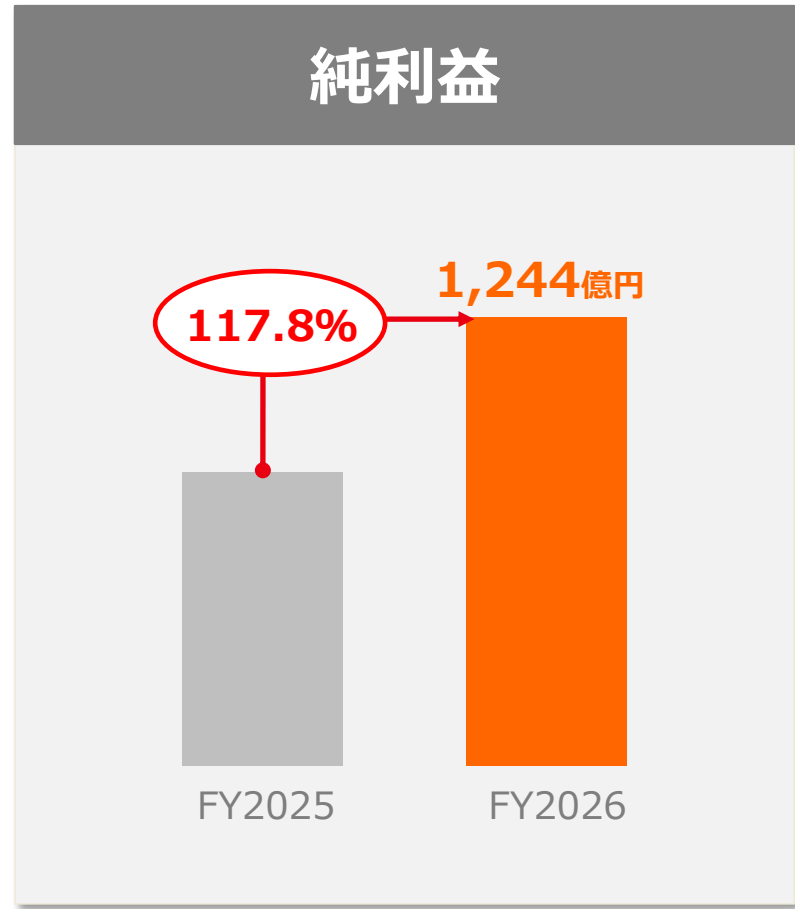
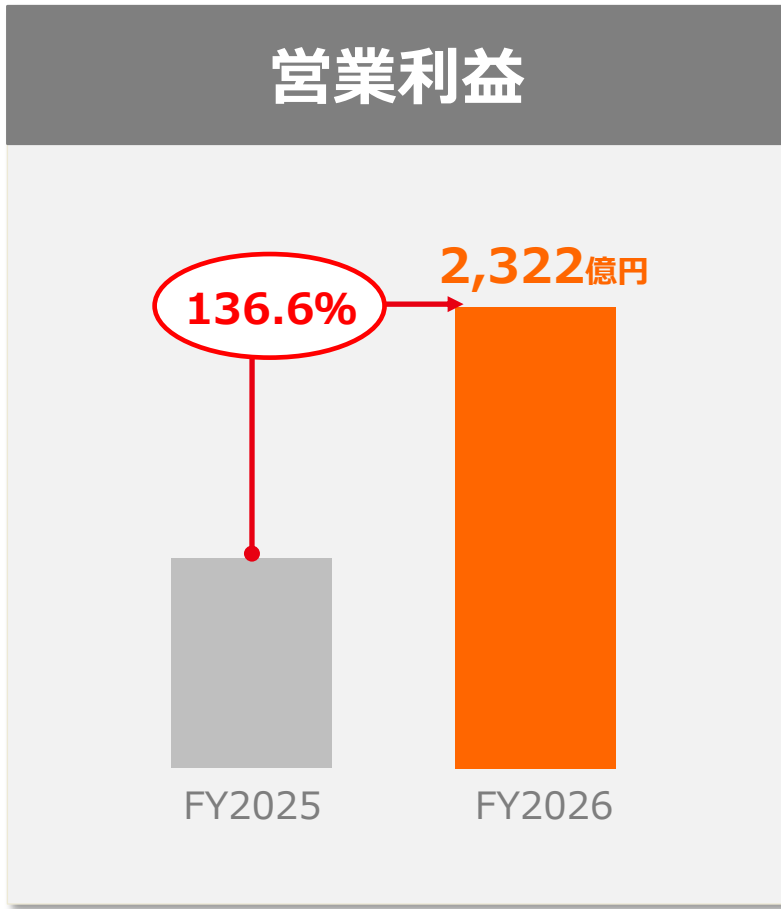
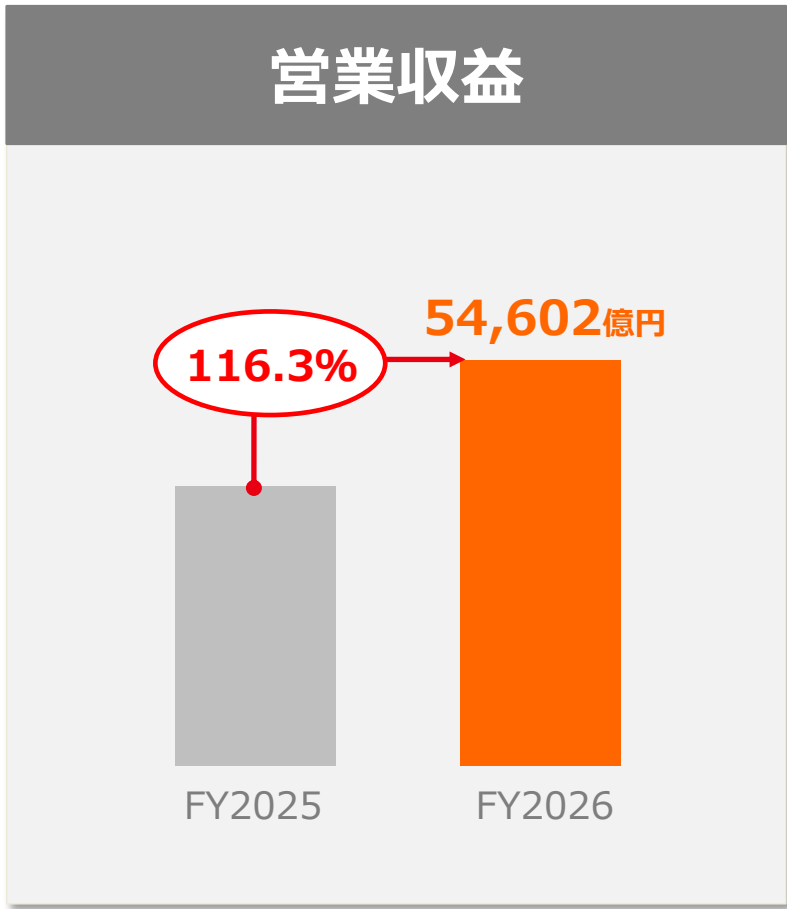
目次

- ① オープニング
- ② 中間期連結業績

目次

- ① オープニング
- ② 中間期連結業績

オープニング – 2026年度 中間期連結業績



*ヨークHD及びセブン銀行の非連結化に伴う影響を調整した実質ベース

厳しい事業環境下に対し、変革プランの着実な実行により、中間期は2桁の増収・増益*

7-Elevenの変革 – 変革プランの着実な実行

フレッシュフードの差別化

SEJ 出来立てカウンター商品

押上効果 **+0.9%**
既存店売上 **+1.1%**

SEI ホットフードの拡充・品質向上

既存店
商品売上 
成長トレンド

7NOW

SEI

中間期
売上 **\$ 550M**
前期比 **+15.6%**

**健全な収益性を維持
通期目標を上回るペース**

ガソリン事業の垂直統合



**収益機会の
効果的な獲得**

店舗ネットワークの最適化



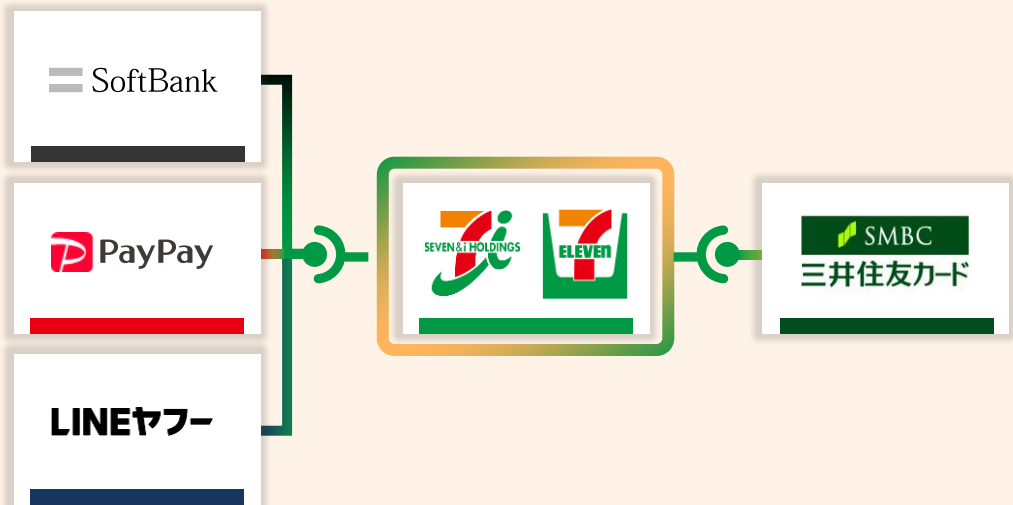
**フランチャイズ転換
売上・荒利率改善**

お客様起点の取り組みが具体的な成果として表れ始め、変化への対応力をさらに強化

7-Elevenの変革 – 変革による成長加速

基本を一つひとつ確実に徹底しながら、お客様体験を支える力を継続的に高めていく

圧倒的な顧客接点を生む 戦略的パートナーシップ



より魅力的なお客様体験、よりスマートな店舗運営
そして新たな成長機会へ

SEI リーダーシップ



マウリシオ・レイバ
CEO

- お客様への深い理解
- 変革期におけるリーダーシップ
- 確かな実行力

Grupo Modelo: メキシコのコンビニエンスストア網を2倍超に拡大
Keurig Dr Pepper: 統合後の重要な事業変革を主導

お客様起点の規律ある実行

お客様志向への変革の歩みをさらに加速し、業績を継続的に向上させていく

目次

- ① オープニング
- ② 中間期連結業績

中間期 連結業績ハイライト

単位：億円、%

	26年度	実質ベース*1		財務会計ベース		修正計画対比	
		前期比	前期差	前期比	前期差	計画比	計画差
グループCVS商品売上*2	50,459	104.1	+1,992	104.1	+1,992	99.0	▲510
営業収益	54,602	116.3	+7,635	97.2	▲1,563	99.1	▲497
営業利益	2,322	136.6	+622	111.5	+238	99.3	▲17
経常利益	2,219	137.6	+606	119.0	+354	102.3	+49
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,244	117.8	+187	102.2	+26	105.5	+64
EBITDA (営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費)	4,906	119.8	+811	101.1	+51	100.9	+46
EPS (円)	54.26	130.7	+12.76	113.4	+6.42	106.3	+3.22
のれん償却前EPS (円) *3	78.31	126.9	+16.59	113.9	+9.55	104.6	+3.47

*1 ヨークHD及びセブン銀行の非連結化に伴う影響を調整 *2 連結子会社におけるCVS事業会社の直営店及び加盟店の商品売上 *3 のれん償却費に係る税務影響を考慮

注) 為替換算レート：U.S.\$1 = 158.29円 1元 = 23.07円

中間期 セグメント別営業収益・営業利益

営業利益は、国内CVSの減益を海外CVSが大きくカバーし、連結では大幅増益

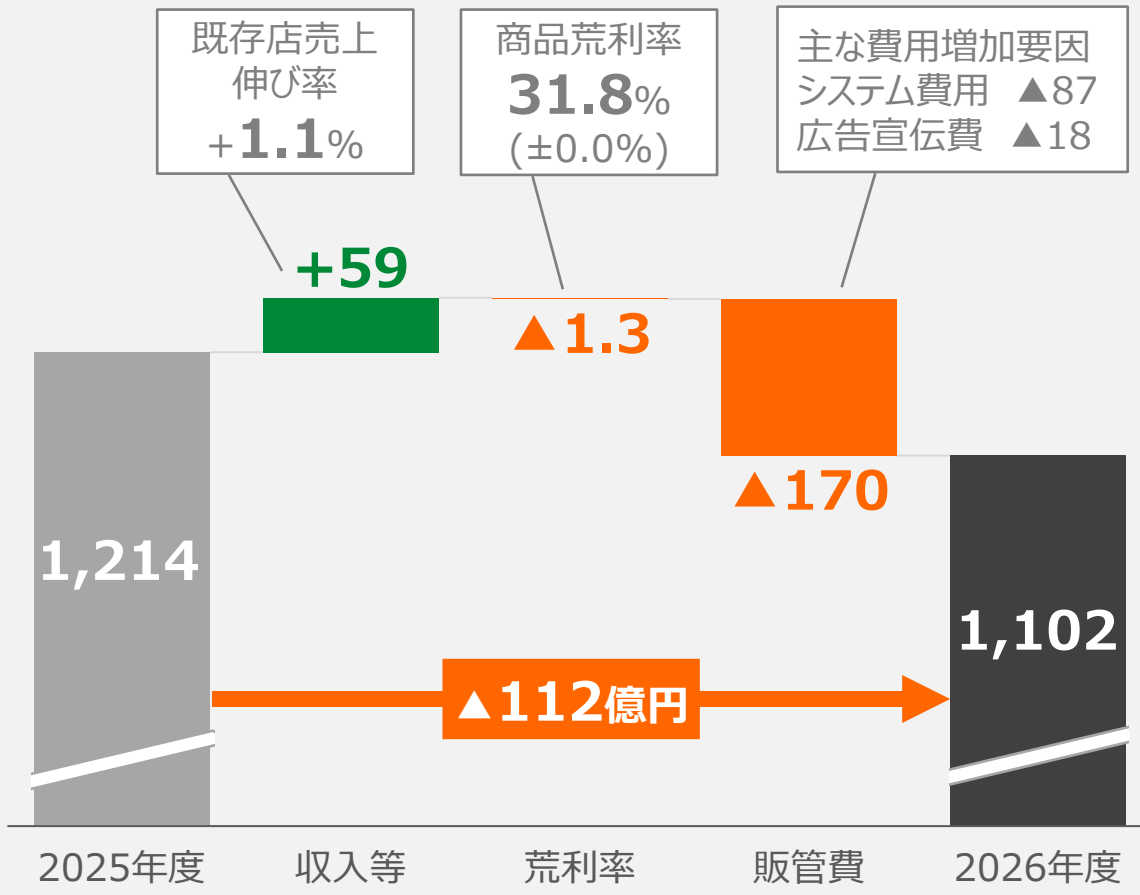
単位：億円、%

	営業収益			営業利益		
		前期比/差 (実質ベース比*1)	修正計画比/差		前期比/差 (実質ベース比*1)	修正計画比/差
連結	54,602	116.3 +7,635	99.1 ▲497	2,322	136.6 +622	99.3 ▲17
国内コンビニエンスストア	4,673	101.0 +47	97.8 ▲106	1,098	90.2 ▲118	91.3 ▲105
セブン-イレブン・ジャパン	4,548	101.4 +61	98.1 ▲86	1,102	90.7 ▲112	90.8 ▲111
海外コンビニエンスストア	49,666	117.7 +7,454	99.2 ▲393	1,504	187.7 +702	103.0 +44
7-Eleven, Inc. (百万ドル)*2	28,797	109.8 +2,571	99.1 ▲263	1,320	145.8 +414	101.4 +18
その他	323	126.4 +67	90.0 ▲36	27	89.0 ▲3.3	130.9 +6.4
消去及び全社	▲60	- +65	- +39	▲307	- +41	- +37

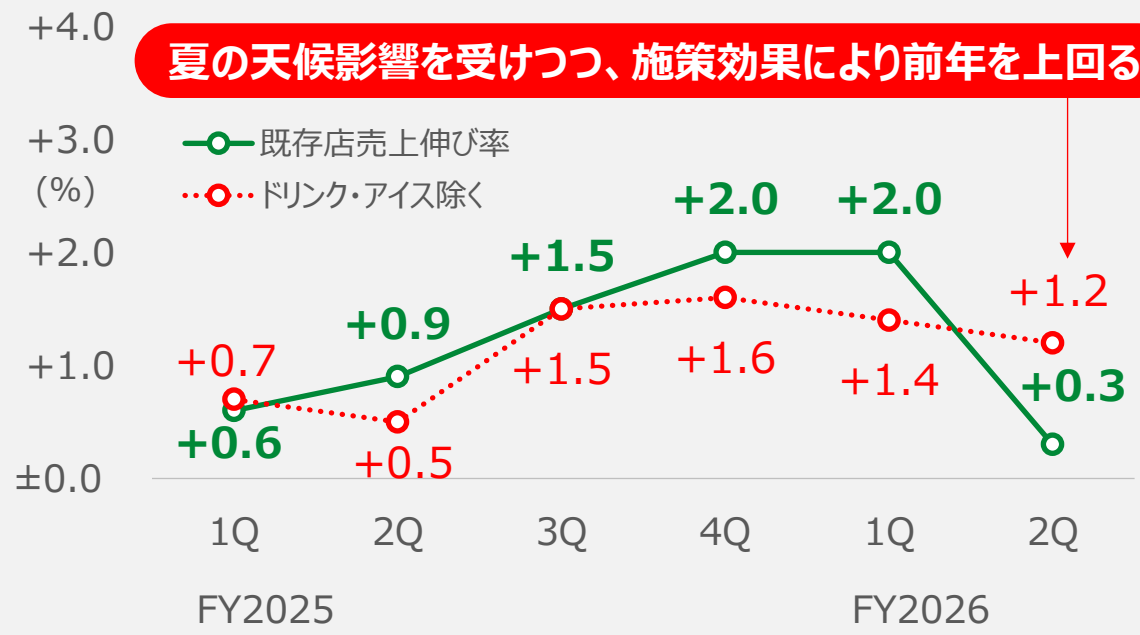
*1 ヨークHD及びセブン銀行の非連結化に伴う影響を調整 *2 SEI連結の数値
注) 為替換算レート：U.S.\$1 = 158.29円 1元 = 23.07円

営業利益と主要KPI

単位：億円



既存店売上推移



販管費

- ✓ システム費用は次世代システム運用費等による増加
- ✓ 増加影響は、4Qで一巡
- ✓ 上期の販管費は計画線

カテゴリー戦略

(中間期影響度)	既存店売上 伸び率	商品荒利率 前年差
商品計	+1.1%	±0.0%
出来立て カウンター商品*	+0.9%	+0.1%
玩具	+0.4%	±0.0%
ドリンク・アイス他	▲0.2%	▲0.1%

*出来立てカウンター商品：ホットフード、セブンカフェ（ティー含む）、スムージー

Live-Meal（出来立てカウンター商品*）

ターゲット×シーン

若者・共働き層

×

外出先

中間期日販伸び率 日販効果

+15.6% +5.9千円

客単価向上で、
日販成長の基盤を確立

IPコンテンツ（玩具）

ターゲット×シーン

若者

×

わくわく消費

中間期日販伸び率 日販効果

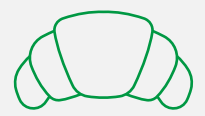
+32.0% +2.9千円

強力な来店誘引で、
トップライン成長を牽引

生活シーンとターゲットをシャープに定めたカテゴリー戦略により持続的なトップラインの成長基盤を構築

フレッシュフードの差別化

セブンカフェ ベーカリー導入店舗数(累計)
26年度計画：約18,000店



約**12,000**店

セブンカフェ ティー導入店舗数(累計)
26年度計画：約10,000店



約**4,600**店

出来立てカウンター商品平均日販
+15.6%

店舗ネットワーク

26年度計画：出店550店 / 純増数200店



新規出店	純増数
210 店	26 店

7NOWの拡大



7 NOW モバイルオーダー
(2026年4月スタート)

7NOW総売上
+35.5%

主要施策は着実に進捗

SEJ_変革プランの加速(戦略的パートナーシップ)

NO.1同士が組む**圧倒的な顧客接点**とそれによるデータの**量と質**を獲得

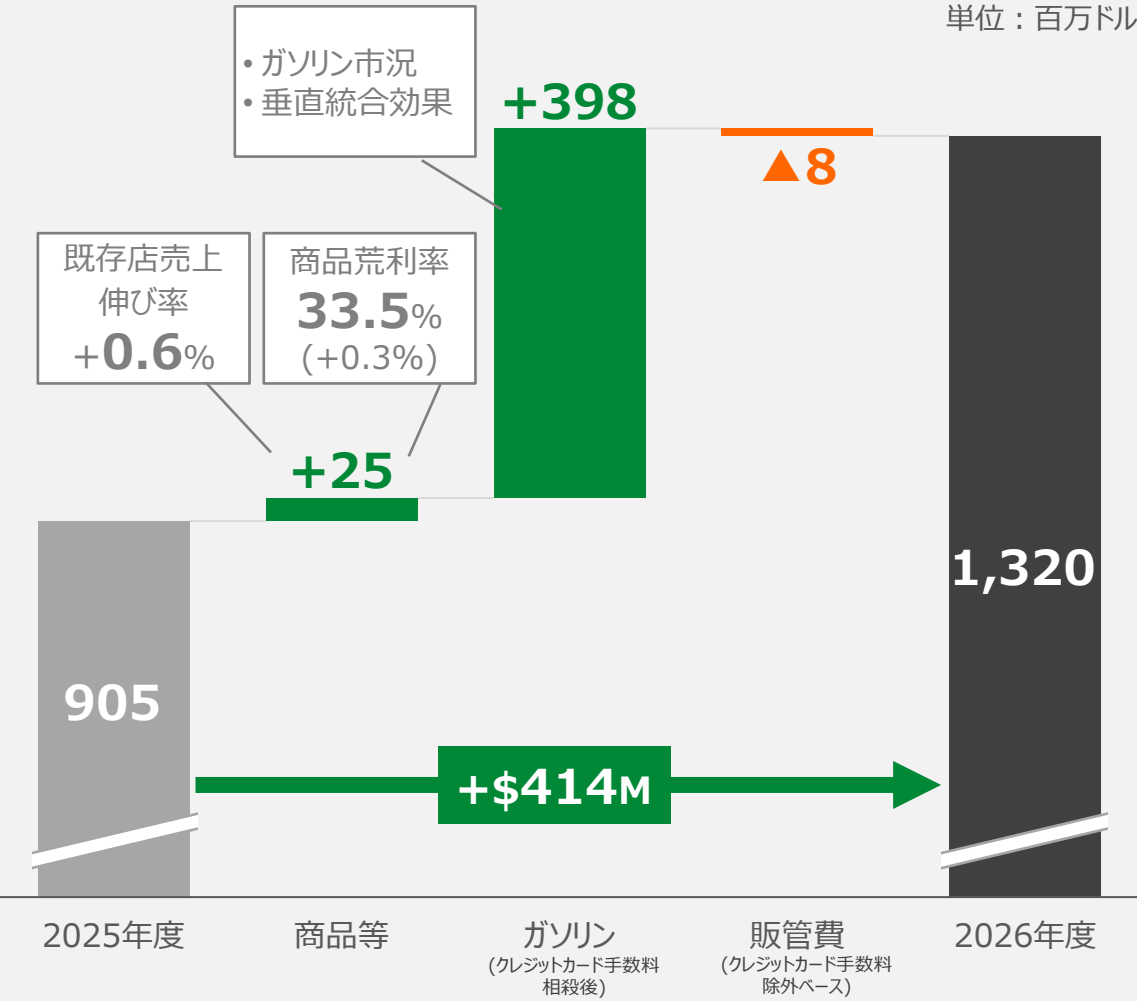


出所：*1 MMD研究所 *2 ICT総研 *3 同社開示資料及び同社調べ

パーソナライズマーケティングとテクノロジーの活用による革新的な顧客体験を提供

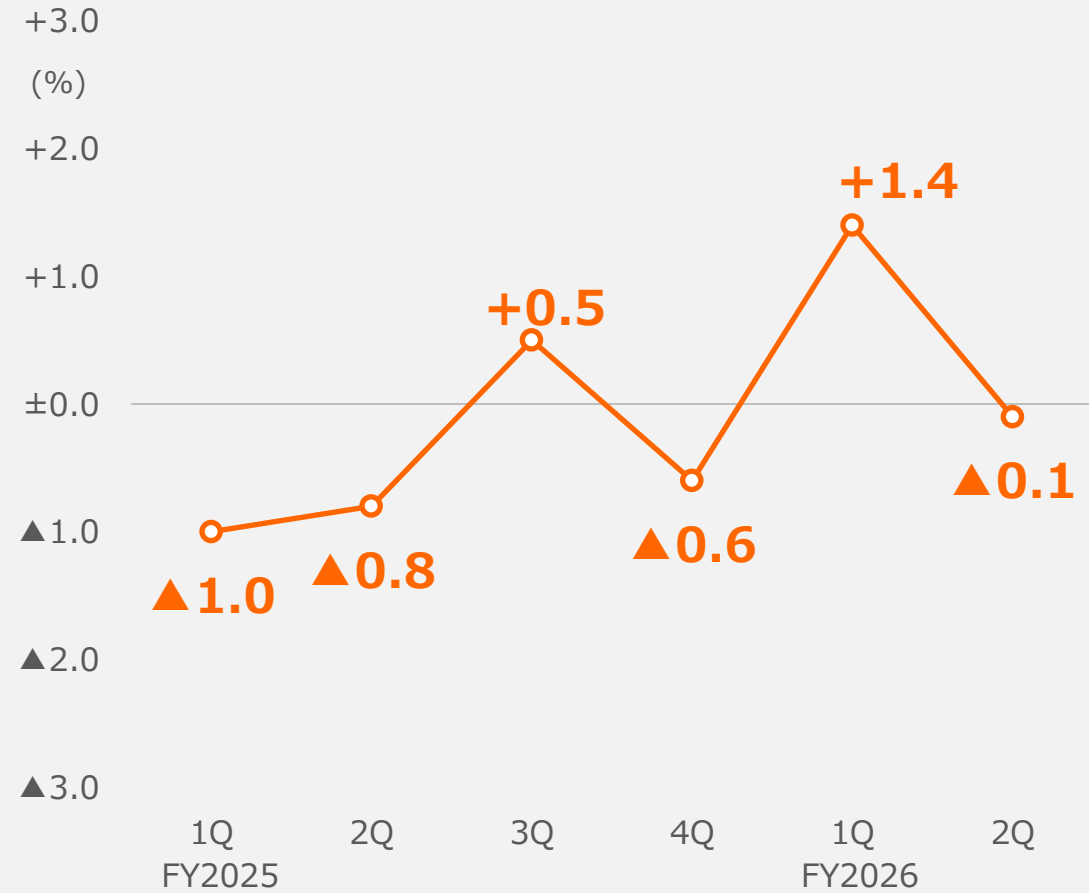
営業利益と主要KPI

単位：百万ドル



注) ガソリンに起因するクレジットカード手数料の増加分(52百万ドル)は、ガソリンに反映されています (販管費からは除外)

既存店商品売上推移



SEI_変革プランの着実な進捗（差別化商品）

ホットフード展開を加速



- 人気のホットサンドイッチシリーズに新商品を投入
- レストラン同等の水準を目指したボーンレスチキンウィングの品質向上

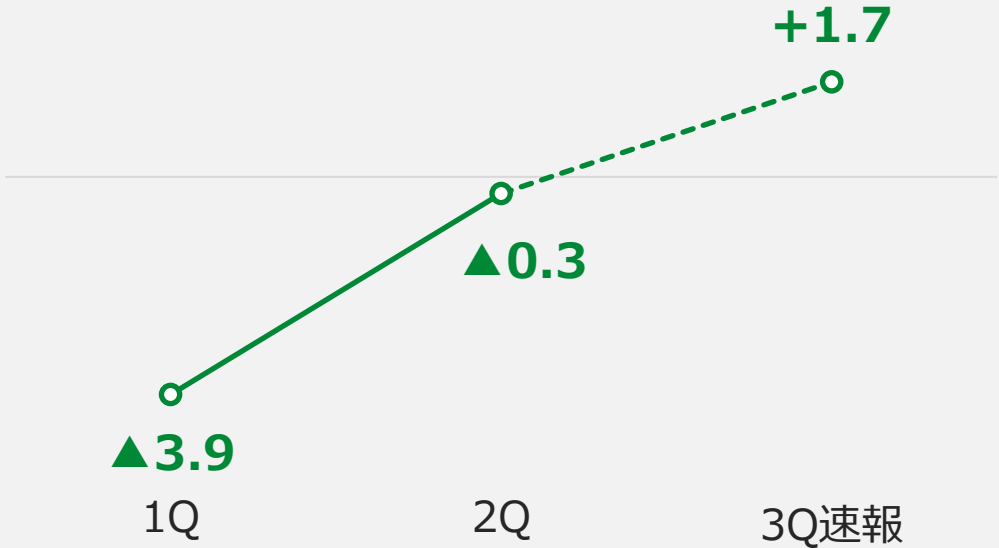
オープンケースを刷新

「目を引く」「食欲をそそる」「購入しやすい」



- フレッシュフードの品質向上と新商品導入
- 商品を見つけやすい売り場
- 視覚的訴求力の向上
- 機能性飲料

既存店フレッシュフード売上推移



注) 1Q : 1~3月 / 2Q : 4~6月 / 3Q : 7~9月

ホットフードの拡充とオープンケース刷新による差別化強化により、着実なトップラインの成長を推進

SEI_中間期 施策の進捗状況①

競争力のある商品品揃え

レストラン開店数
26年度計画：50店



29店

PB商品 新商品販売
26年度計画：220アイテム



138アイテム

最高水準の顧客体験



7NOW総売上

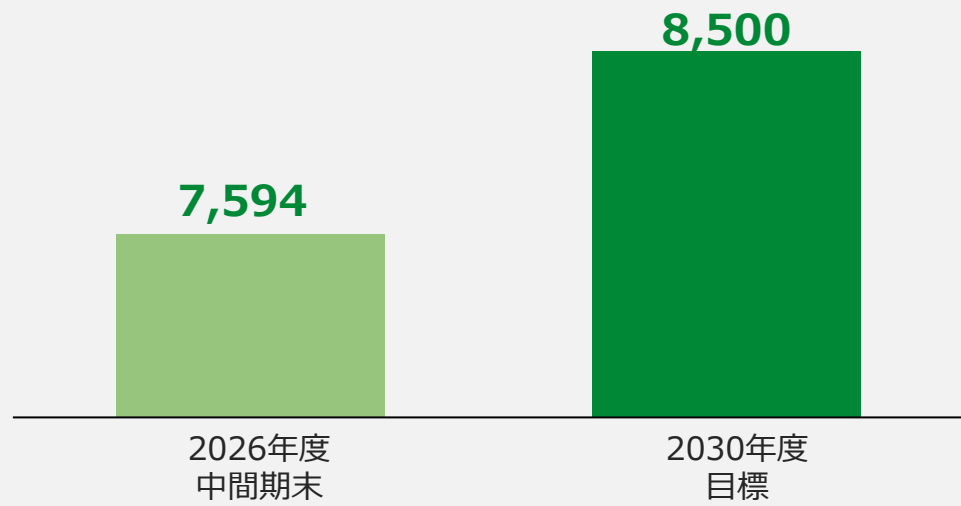
26年度計画：11億ドル

550百万ドル
+15.6%

既存店売上伸び率

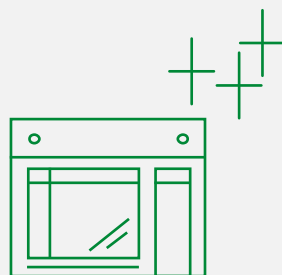
+9.9%

7NOW店舗数



独自のデジタルプラットフォームを活かし、お客様の利便性ニーズに対応したことで、7NOWが大きく成長

店舗ネットワークの最適化



新規出店

26年度計画：205店

69店

改装

26年度計画：見直し中

下期から実施予定

フランチャイズ転換

26年度計画：390店

86店

不採算店閉店

26年度計画：200店

162店

ガソリン卸売転換

26年度計画：350店

79店

フランチャイズ転換により、売上・荒利率向上

2025年にフランチャイズ転換が47店完了
転換店舗の直近1年の実績vs転換前

商品売上：



1桁前半～中程度の成長

商品荒利率：



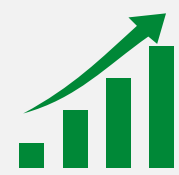
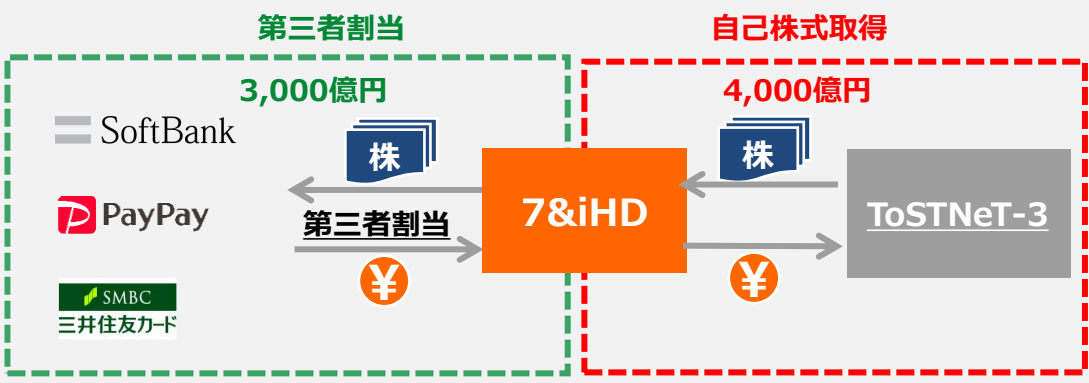
荒利率の大幅な改善

店舗ネットワークの最適化に向けた取り組みをはじめ、主要施策は着実に進捗



自己株式取得

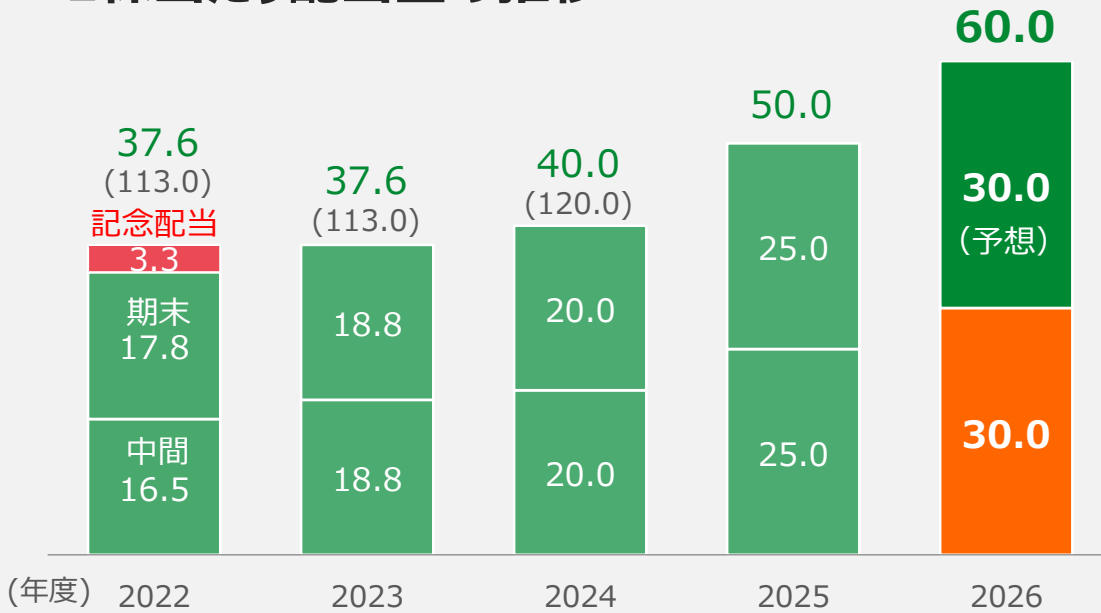
- ・中間期ネット1,000億円の自己株式取得
- ・累計7,000億円の自己株式取得
- ・2030年までに残り1.3兆円



累進配当

1株当たり配当金の推移*

単位：円



* ・ 2024年3月1日付で普通株式1株を3株に株式分割いたしました。
 ・ 2022年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しております。
 ・ ()は株式分割前の金額。

2030年度までの自己株取得と、累進配当方針に則った配当を着実に実行

Appendix – 補足資料 –

連結要約貸借対照表(2026年8月末)

単位：億円

資産の部 (主要科目のみ)	2026/2	2026/8	前期末差
流動資産	14,925	16,720	+1,794
現金及び預金	4,386	4,402	+15
受取手形、売掛金及び 契約資産	2,986	3,423	+436
商品及び製品	2,230	2,642	+412
固定資産	76,500	77,960	+1,460
有形固定資産	44,979	46,410	+1,430
建物及び構築物	14,497	14,716	+219
土地	9,022	9,294	+272
使用権資産	14,516	15,197	+680
無形固定資産	24,690	24,762	+72
投資その他の資産	6,830	6,788	▲41
繰延資産	3.9	3.3	▲0.6
資産合計	91,429	94,684	+3,254

負債・純資産の部 (主要科目のみ)	2026/2	2026/8	前期末差
負債合計	54,947	57,333	+2,385
流動負債	19,006	19,298	+292
支払手形及び買掛金	4,160	4,988	+827
短期借入金	1,355	583	▲772
1年内償還・返済予定の 社債及び長期借入金	4,461	4,682	+220
預り金	1,779	1,746	▲32
リース債務	1,647	1,719	+72
固定負債	35,940	38,034	+2,093
社債	9,298	9,573	+275
長期借入金	7,184	7,854	+669
リース債務	13,989	14,717	+727
純資産合計	36,481	37,350	+868
負債・純資産合計	91,429	94,684	+3,254

中間期 セグメント別営業収益・営業利益・EBITDA (対前期)

単位：億円、%

	営業収益		営業利益		EBITDA	
		前期比/差		前期比/差		前期比/差
連結 [実質ベース*]	54,602	97.2 ▲1,563 [116.3] [+7,635]	2,322	111.5 +238 [136.6] [+622]	4,906	101.1 +51 [119.8] [+811]
国内コンビニエンスストア	4,673	101.0 +47	1,098	90.2 ▲118	1,577	95.2 ▲80
海外コンビニエンスストア	49,666	117.7 +7,454	1,504	187.7 +702	3,423	132.4 +837
その他 [実質ベース*]	323	3.4 ▲9,131 [126.4] [+67]	27	6.6 ▲386 [89.0] [▲3.3]	107	12.6 ▲744 [117.3] [+15]
消去及び全社	▲60	- +65	▲307	- +41	▲201	- +38

* ヨークHD及びセブン銀行の非連結化に伴う影響を調整
 注) 為替換算レート：U.S.\$1 = 158.29円 1元 = 23.07円

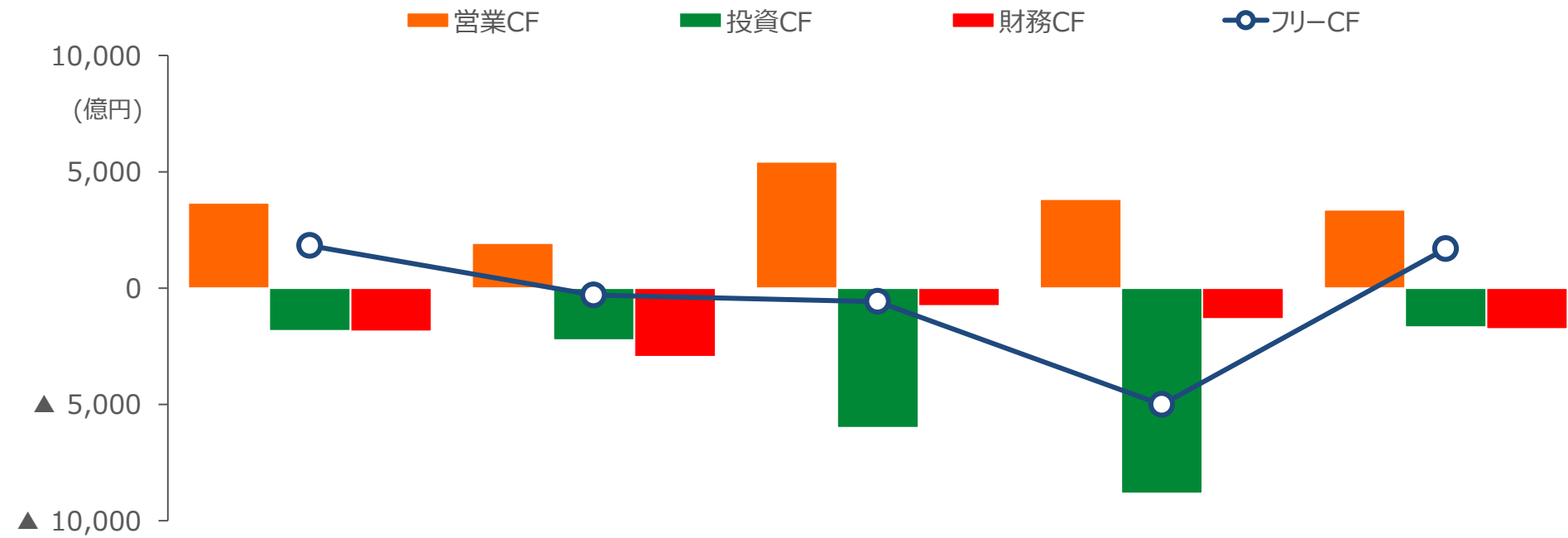
中間期 セグメント別営業収益・営業利益・EBITDA (対修正計画)

単位：億円、%

	営業収益		営業利益		EBITDA	
		修正計画比/差		修正計画比/差		修正計画比/差
連結	54,602	99.1 ▲497	2,322	99.3 ▲17	4,906	100.9 +46
国内コンビニエンスストア	4,673	97.8 ▲106	1,098	91.3 ▲105	1,577	93.9 ▲101
海外コンビニエンスストア	49,666	99.2 ▲393	1,504	103.0 +44	3,423	101.4 +48
その他	323	90.0 ▲36	27	130.9 +6.4	107	153.1 +37
消去及び全社	▲60	- +39	▲307	- +37	▲201	- +62

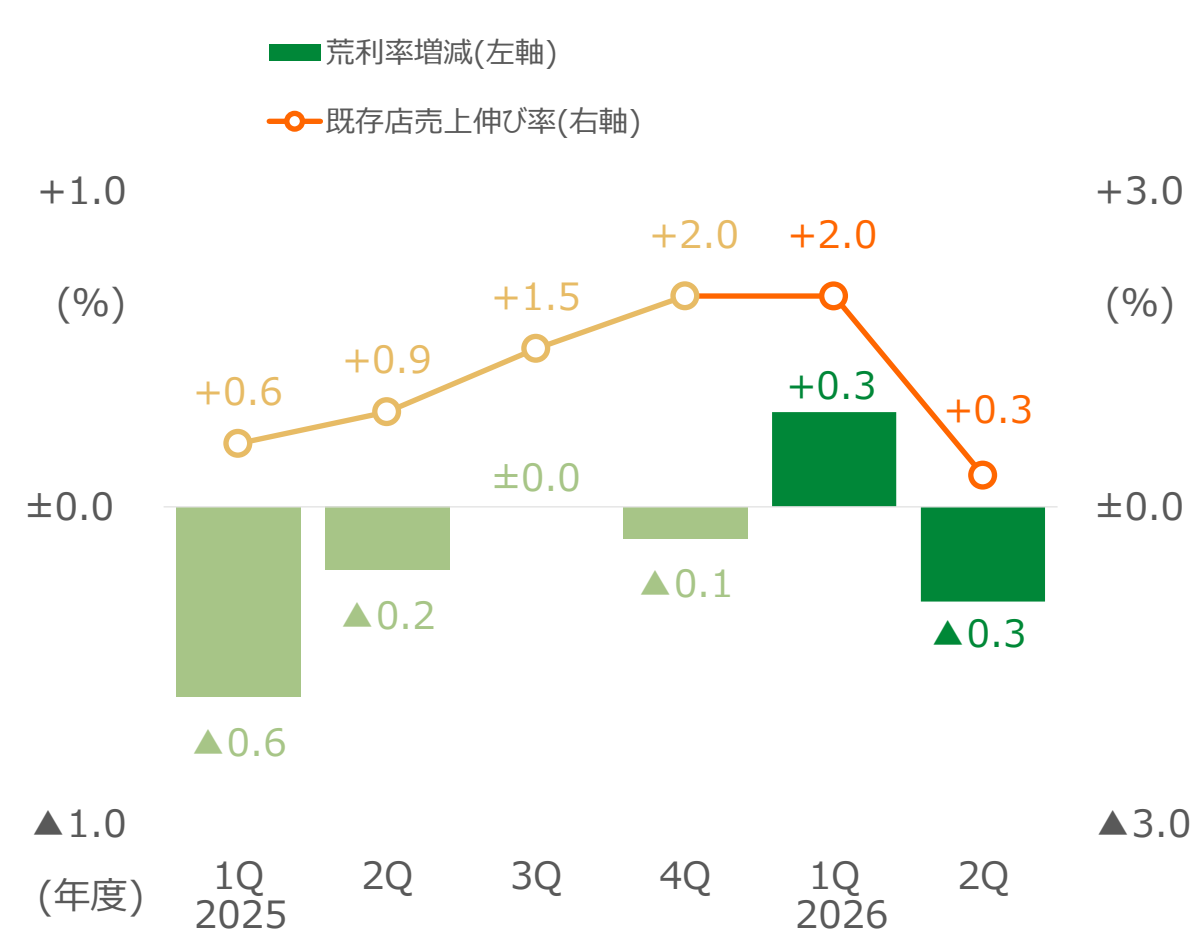
注) 為替換算レート：U.S.\$1 = 158.29円 1元 = 23.07円

中間期 連結キャッシュ・フロー計算書

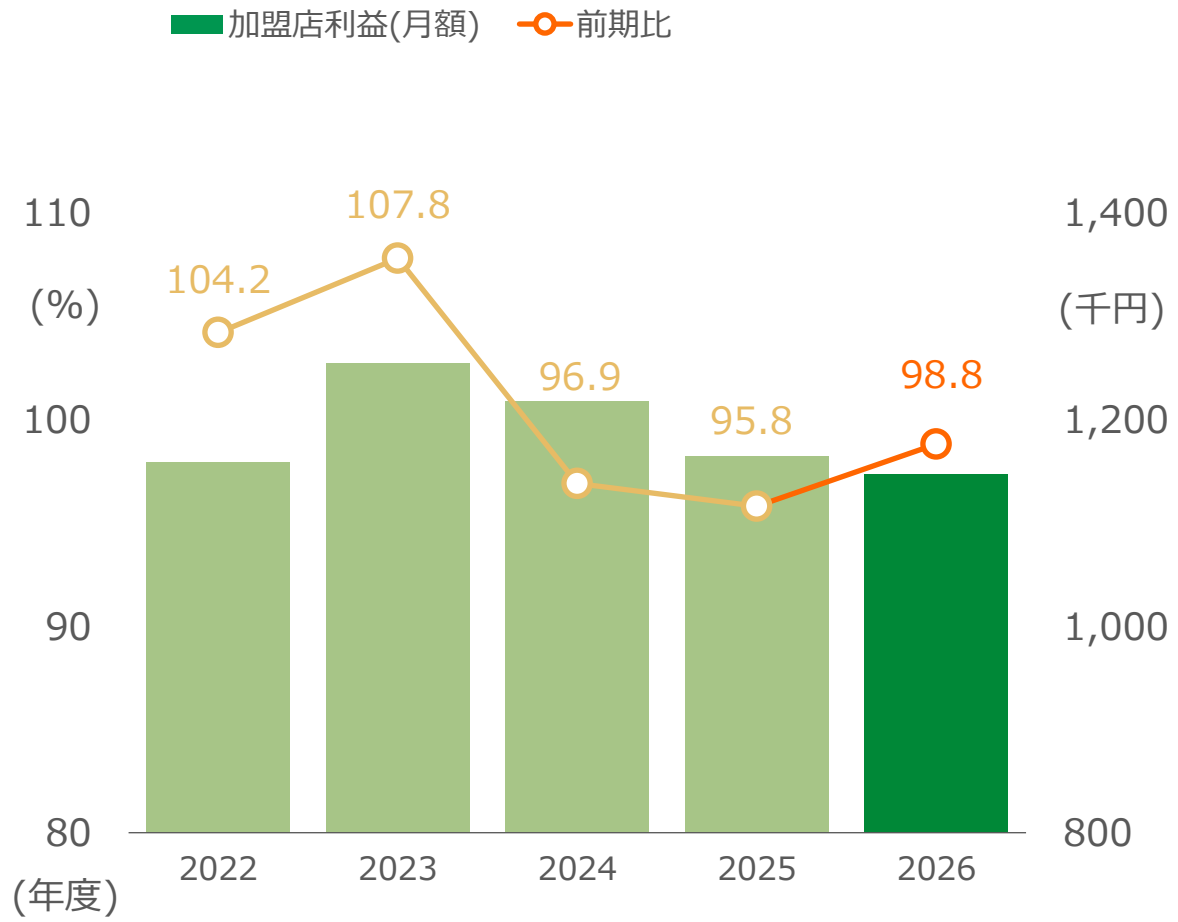


(億円)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2025年度との差
営業活動によるCF	3,664	1,929	5,424	3,821	3,370	▲450
投資活動によるCF	▲1,842	▲2,231	▲6,007	▲8,833	▲1,682	+7,150
フリーCF	1,822	▲301	▲583	▲5,012	1,687	+6,700
財務活動によるCF	▲1,854	▲2,952	▲765	▲1,329	▲1,760	▲431
現金及び現金同等物 期末残高	14,425	13,721	14,695	6,942	4,271	▲2,670

既存店売上・荒利率



中間期 加盟店利益推移



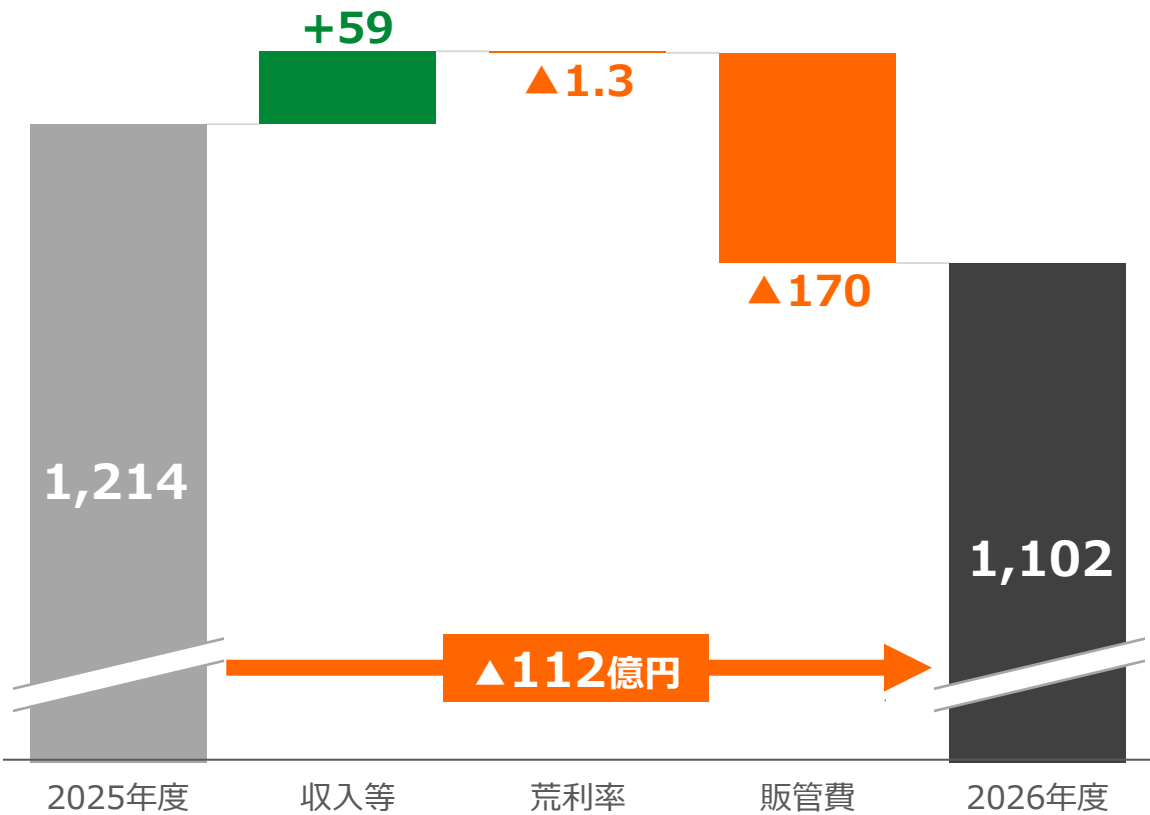
販管費

単位：億円、%

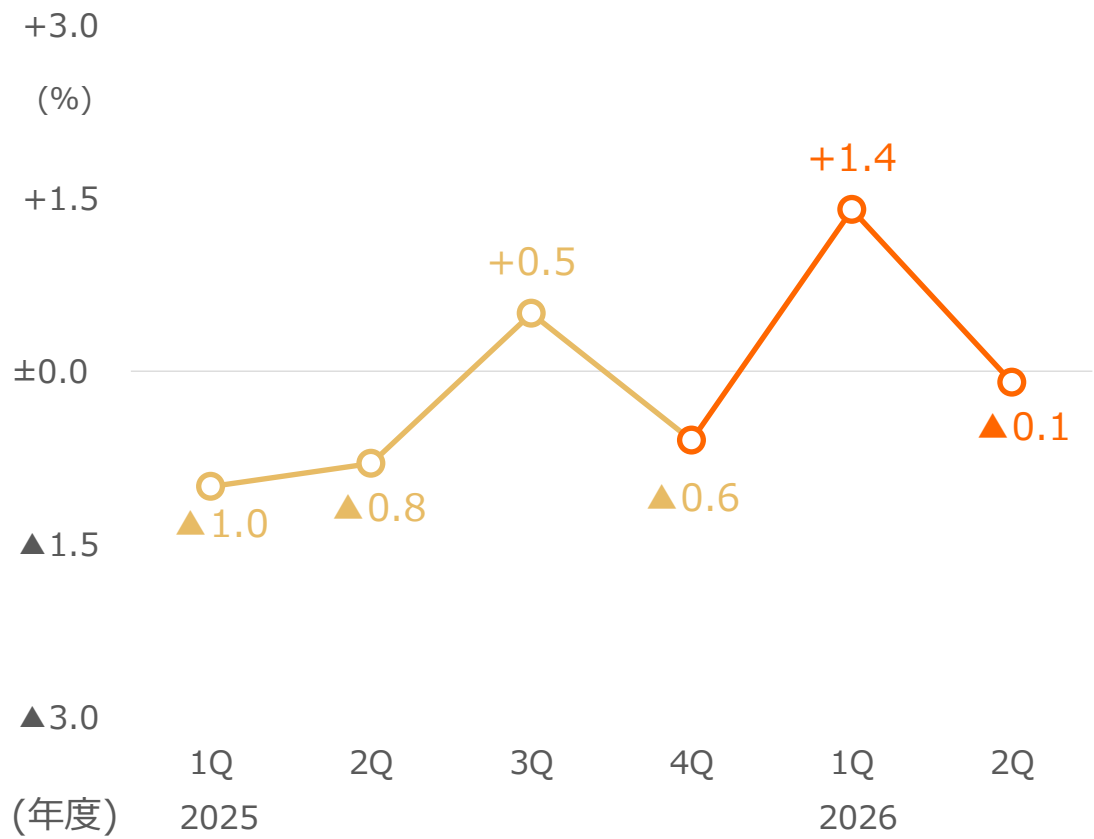
		中間期		主な要因
		前期比	前期差	
販管費合計	3,278	105.5	+170	
広告宣伝費	236	108.6	+18	販促の強化
人件費	403	101.2	+4.8	給与単価上昇による影響
地代家賃	1,032	101.7	+16	店舗数増加
減価償却費	466	108.2	+35	次世代システム及び既存店投資に伴う増加
水道光熱費	336	100.8	+2.7	電気代増加
その他	802	113.0	+92	システム経費及びメンテナンス費用の増加

営業利益増減

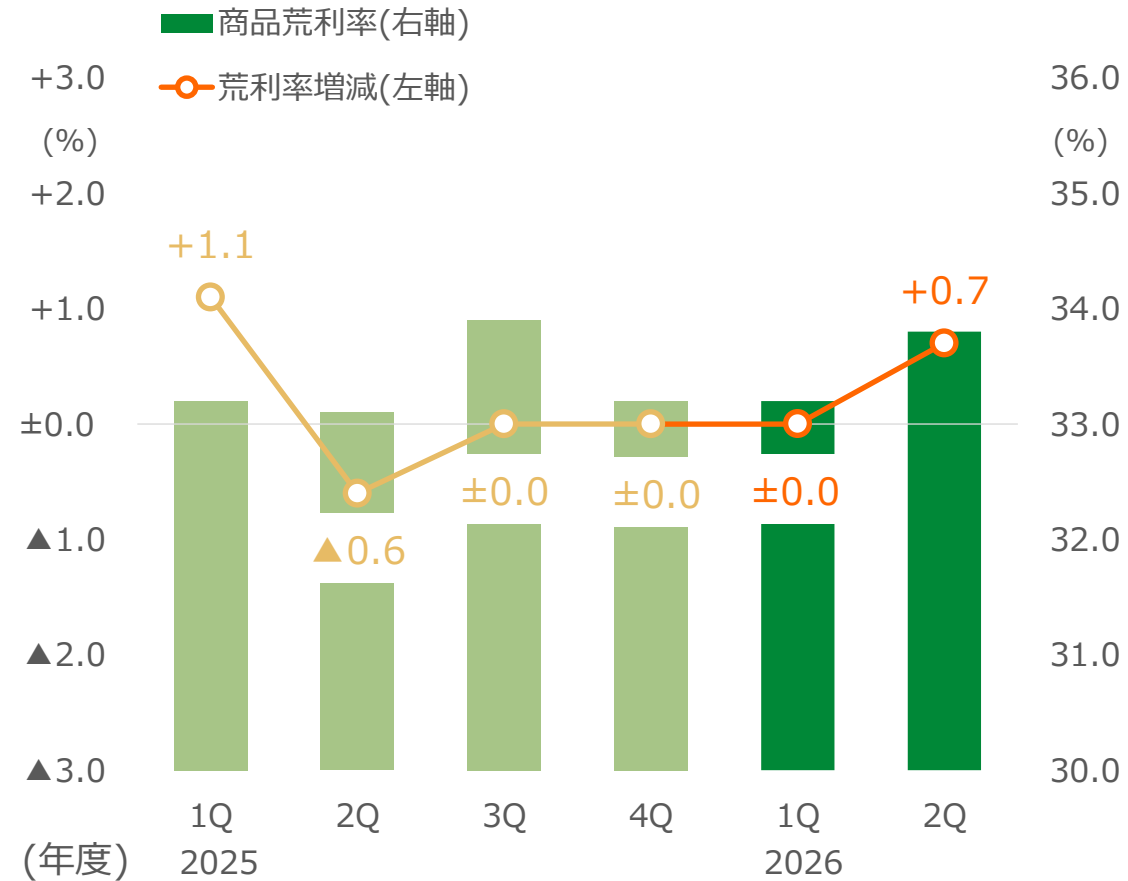
単位：億円



既存店商品売上

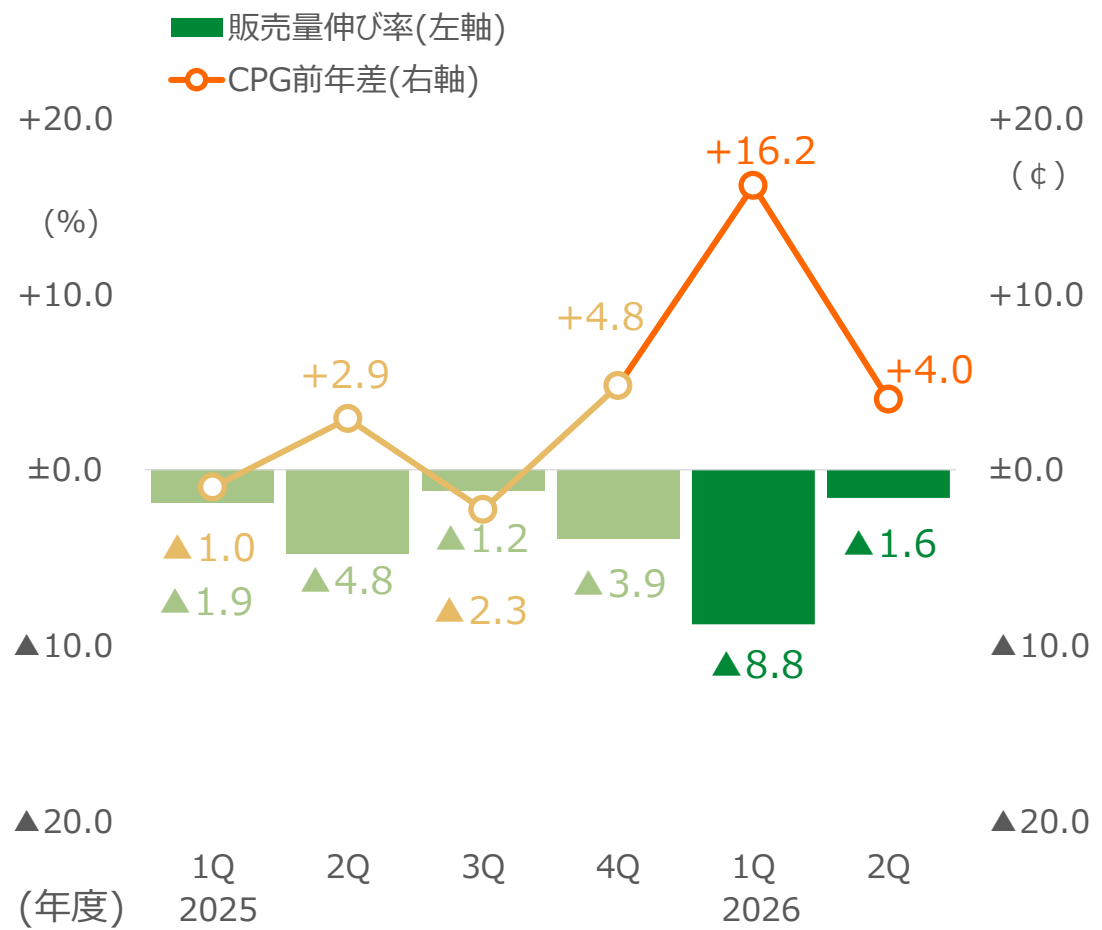


商品荒利率

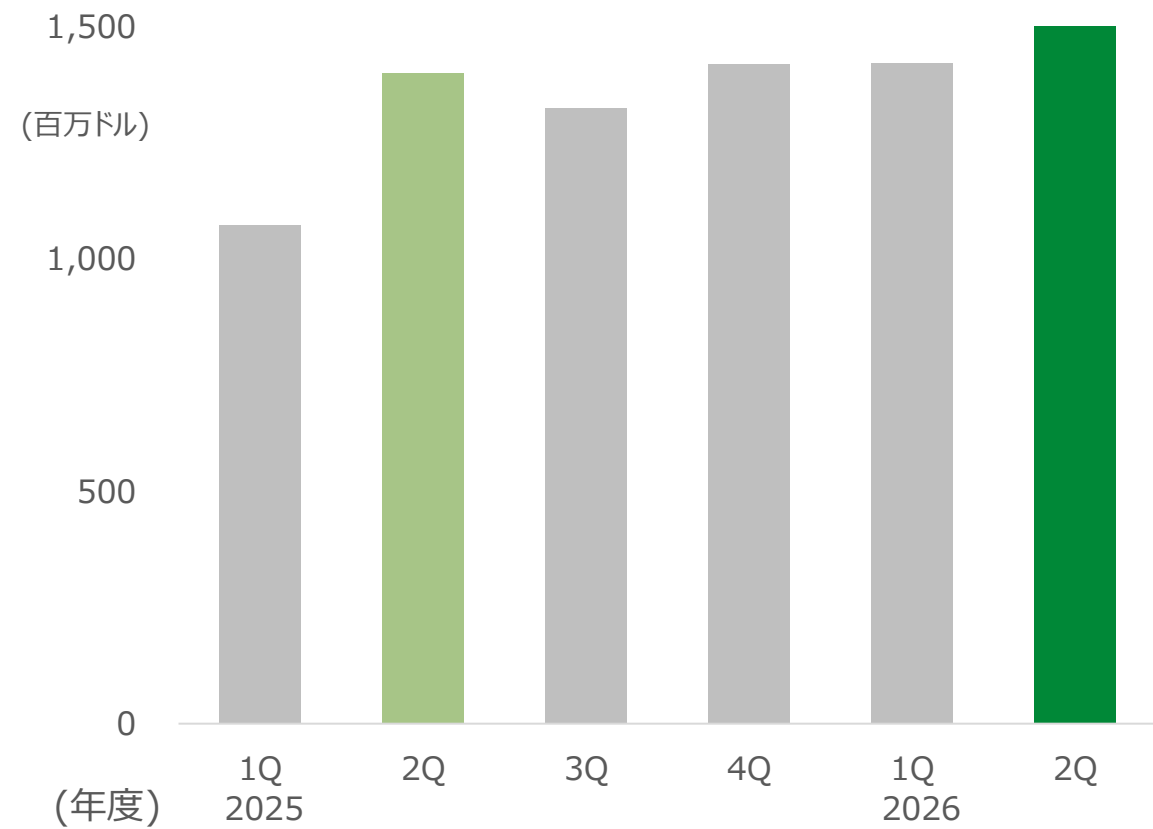


7-Eleven, Inc. ②

ガソリン 全体販売量・CPG*



ガソリン 全体荒利額



* 卸売等を含むガソリン事業全体の荒利を記載しております。

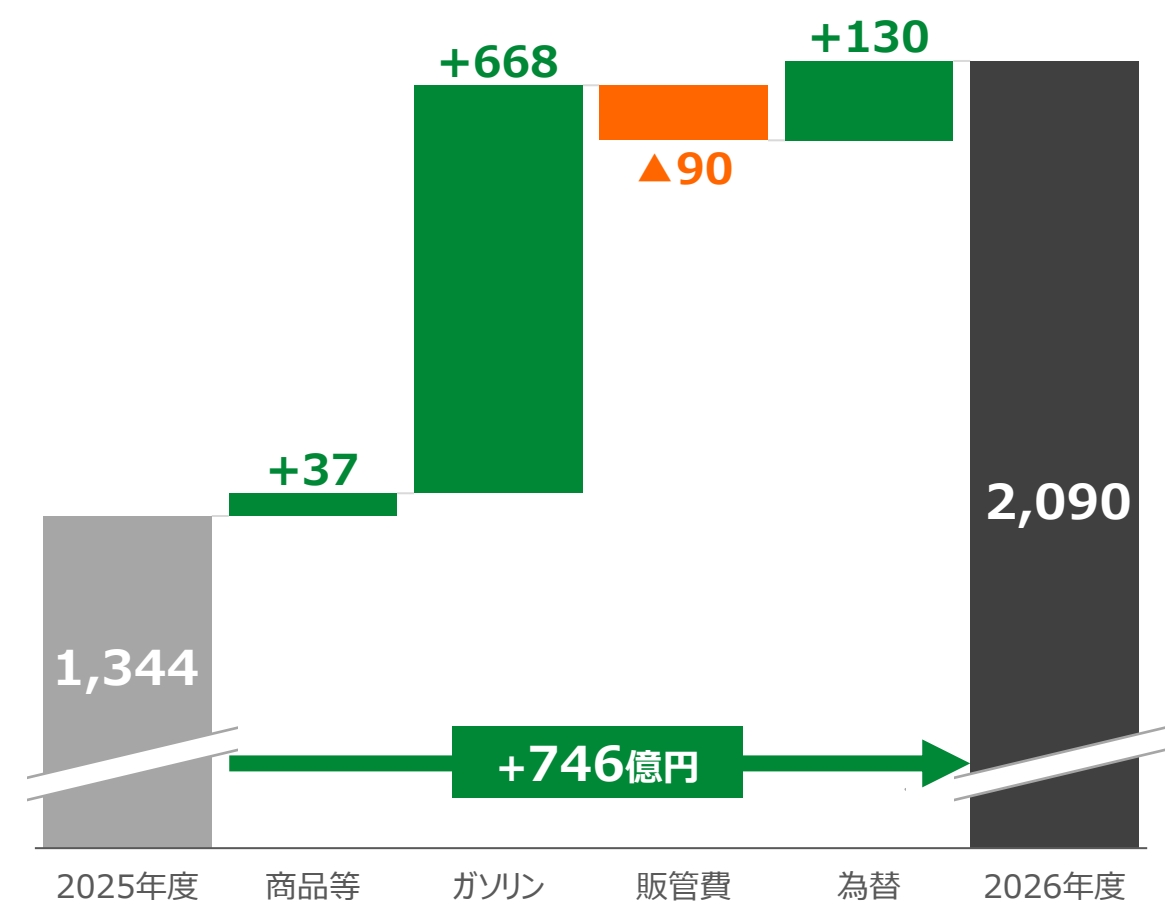
販管費

単位：百万ドル、%

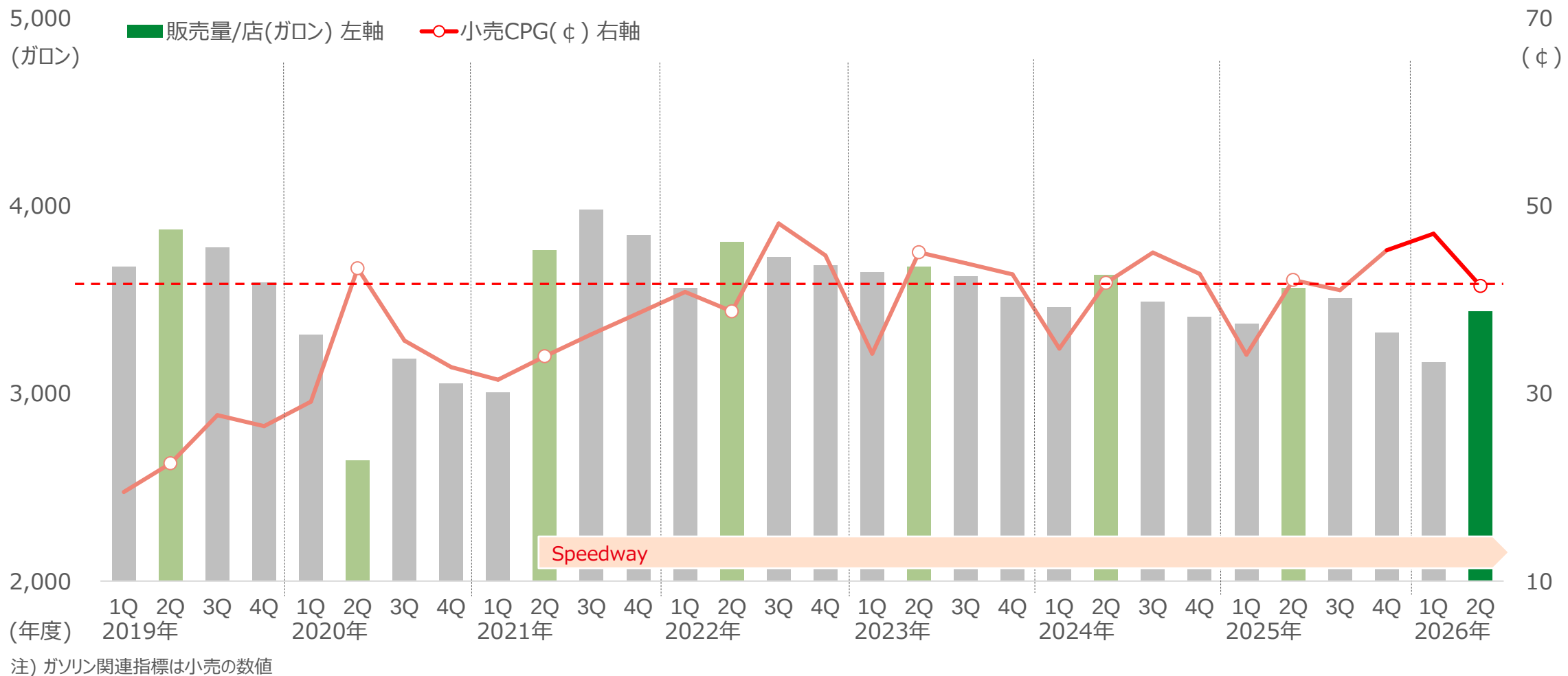
		中間期		主な要因
		前期比	前期差	
販管費合計	4,697	101.3	+60	
広告宣伝費	54	70.1	▲23	広告宣伝費の適正化
人件費	1,348	91.4	▲126	費用の科目振替及び直営店の減少による減少
地代家賃	648	105.6	+34	インフレによる家賃増等
減価償却費	691	100.8	+5.4	店舗設備やソフトウェア投資により増加
水道光熱費	267	101.3	+3.3	水道光熱費率の上昇
その他	1,686	111.1	+168	費用の科目振替、店舗に係るメンテナンス費用及びクレジットカード手数料等の増加

営業利益増減

単位：億円



ガソリン 小売販売量・CPG



消去及び全社に係る費用、投資

単位：億円

中間期実績	費 用			投 資		
	実績	前期差	修正計画差	実績	前期差	修正計画差
DX・システム・セキュリティ等	▲202	+29	+13	14	▲5.7	▲8.1
その他	▲105	+12	+24	9.1	+2.9	+5.4
消去及び全社(営業利益)	▲307	+41	+37	23	▲2.7	▲2.7

2026年度 通期連結業績予想

単位：億円、%

	26年度	実質ベース*1		財務会計ベース	
		前期比	前期差	前期比	前期差
グループCVS商品売上*2	102,100	104.5	+4,413	104.5	+4,413
営業収益	104,300	109.7	+9,196	100.0	▲2.6
営業利益	4,250	110.5	+403	100.5	+20
経常利益	3,900	110.7	+377	103.3	+125
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,780	109.1	+231	95.0	▲147
EBITDA (営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費)	9,280	107.1	+611	98.4	▲148
EPS (円)	121.90	117.9	+18.47	102.6	+3.09
のれん償却前EPS (円) *3	169.81	116.6	+24.18	105.0	+8.07

*1 ヨークHD及びセブン銀行の非連結化に伴う影響を調整 *2 連結子会社におけるCVS事業会社の直営店及び加盟店の商品売上 *3 のれん償却費に係る税務影響を考慮
注) 為替換算レート：U.S.\$1 = 157.00円 1元 = 23.00円

2026年度 通期セグメント別予想

単位：億円、%

		営業収益		営業利益			
		前期比	前期差	前期比	前期差		
連結	[実質ベース*1]	104,300	100.0	▲2.6	4,250	100.5	+20
			[109.7]	[+9,196]		[110.5]	[+403]
国内コンビニエンスストア		9,500	103.9	+354	2,242	100.8	+16
セブン-イレブン・ジャパン		9,200	103.6	+323	2,250	102.2	+47
海外コンビニエンスストア		94,260	110.2	+8,691	2,700	121.5	+477
7-Eleven, Inc. (百万ドル)*2		55,000	104.6	+2,397	2,450	110.3	+228
その他	[実質ベース*1]	760	7.8	▲9,026	49	11.1	▲391
			[129.4]	[+172]		[85.5]	[▲8.3]
消去及び全社		▲220	-	▲22	▲741	-	▲82

*1 ヨークHD及びセブン銀行の非連結化に伴う影響を調整 *2 SEI連結の数値
 注) 為替換算レート：U.S.\$1 = 157.00円 1元 = 23.00円



将来に関する記述についてのご注意

本資料に記載されている当社グループの業績見通し、計画、戦略その他将来に関する事項についての記述（以下「将来予測に関する記述」といいます。）は、本資料作成日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成されたものであり、その達成を保証するものではありません。実際の業績等は、既知又は未知の様々なリスク及び不確実性により、これらの将来予測に関する記述とは大きく異なる場合があります。実際の業績等に影響を及ぼす可能性のある要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限定されるものではありません。

●日本、米国その他当社グループが事業を展開する市場における経済情勢及び消費動向の変化 ●為替相場及び金利の変動 ●小売事業等における競争環境の変化 ●店舗網の最適化、バリューチェーンの最適化等の変革プラン・戦略的取り組みが計画どおりに進捗しない可能性 ●原材料費、商品仕入価格、物流費及び人件費等のコスト変動 ●自然災害、感染症の流行、サイバーインシデント、地政学的リスクその他の事由によるサプライチェーン、店舗運営又は情報システムへの支障 ●国内外における関連法令、税制又は会計基準の変更 ●その他、金融庁（EDINET）及び東京証券取引所に提出している開示書類並びに当社ウェブサイト（<https://www.7andi.com/ir/>）に記載の要因

本資料において、当社の代表取締役、取締役、執行役員又は従業員による発言として引用されるコメント（最高経営責任者（CEO）及び最高財務責任者（CFO）のコメントを含みます。）は、いずれも当社を代表して行われたものであり、歴史的事実に関する記述を除き、将来予測に関する記述に該当するものとして、本注意書きに定める前提及びリスク・不確実性の対象となります。本資料記載の将来予測に関する記述は本資料作成日時点のものであり、当社は、法令又は金融商品取引所規則により求められる場合を除き、新たな情報の入手、将来の事象の発生その他の事由によりこれらの記述を更新する義務を負うものではありません。読者の皆様におかれましては、これらの記述に過度に依拠されませんようご注意ください。